

前回指摘事項とその確認結果

No	指摘事項	確認結果	関連資料
1	<p>上之地区交差点改良事業の効果検証について、<u>ラグビーワールドカップや施設の大型工事によるトラックの出入り等による影響</u>があったと思われるため、考慮して追加の検証をお願いしたい。</p>	<p>工事予定について、2021年8月まで工事が予定されていたため、データが整い次第分析を実施予定。 工事完了後の2021年9月以降のデータを用いた分析を実施し、対策前後の交通状況の比較を行う。 【次回委員会（R4年度）にて報告予定】</p>	—
2	<p>県内の交通状況として、6月以降はコロナ前に戻っている傾向にあるとあったが、<u>GoToトラベル事業が本格化することで観光地等において自家用車の交通が非常に増えたという地域</u>がある。 TDMの取り組みと合わせて、<u>公共交通機関への誘導のあり方を感染症対策との関連で検討</u>する必要があると思われる。</p>	<p>観光地付近（川越周辺）を対象に交通状況の確認を実施した。その結果、コロナ禍にある2020年6月以降で、交通量が回復傾向にあり、旅行速度は一部区間において低下していることが確認できるものの、全般的にはほぼ横ばいであることを確認した。 これからの新しい生活様式を考慮した公共交通機関への誘導の在り方については、引き続き検討していく。</p>	資料3
3	<p>交通需要が多いことで渋滞が発生しているボトルネック交差点を対策した場合、一つ下流の交差点にボトルネックの先頭が移るという結果になることが考えられる。<u>交差点単体での対策か路線としての対策か、その見極め</u>はどのように行うのか。</p>	<p>ボトルネック交差点と、その下流に位置する隣接交差点（必要に応じて渋滞区間の交差点）の交通容量を比較検証する。</p>	資料6